

補正予算(第5号) : 6月17日議決

感染症対策を講じつつ、文化・芸術活動を実施する区内の文化施設(劇場・ホール等)及び区内で活動する事業者を支援(上限あり)。

国の持続化給付金の対象となる中小事業者の家賃について、オーナーが緊急事態宣言下の家賃を減額した場合、オーナーに対して、減額分の2分の1を助成(上限あり)。

感染の疑いがある避難者の個室空間を確保するため、震災救援所及び水害避難所に各3基(計204基)配備。

主な事業	予算額
すぎなみアート応援事業	2億3,120万円
中小事業者支援のための家賃助成	1億7,500万円
廃業した事業者への支援	900万円
区立公園等への巡回(見守り・遊具消毒等)	3,505万円
就学援助認定者への昼食代支援	6,012万9千円
ひとり親家庭への支援	5億56万8千円
震災救援所等へのテント型プライベートルーム配備	1,077万2千円
生活困窮者等自立促進支援(住宅確保に係る給付) *利用者急増に伴い、第3号補正だけでは不足するため、さらに追加	7億7,268万3千円
済美養護学校スクールバス増便	792万円

補正予算(第5号)は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(3億8,397万5千円)」も活用して編成されました。

国の第2次補正予算(6月12日可決成立)を踏まえたうえで、**文化・芸術活動が盛んに行われてきたという地域特性**を踏まえた施策や、**より支援が必要な世帯への施策**(就学援助認定者やひとり親家庭への支援)、**災害時の感染症対策**等で構成されており、適切な補正予算と考えます。



所属委員会等変更

5月20日の臨時議会をもって、所属委員会等が変更となりました。これまでの1年間は、

- 総務財政委員会
- 道路交通対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 杉並区防災会議

に所属して活動してまいりましたが、今後は、

- 常任委員会…**文教委員会**
- 特別委員会…**道路交通対策特別委員会(委員長)**
- 各種審議会…**都市計画審議会**

に所属して活動してまいります。

「区政に関する意見交換会」について

例年、8月下旬に、どなたにもご参加いただける「区政に関する意見交換会」を開催していましたが、現下の社会状況に鑑み、今年度は休止させていただくことにいたしました。大変残念ではございますが、ご理解をいただければ幸いです。

次回の定例区議会(令和2年第3回定例会)は、9月9日(水)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属)
岩田いくま 区政報告 第67号(令和2年夏号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和元年5月より5期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(17歳)、長女(14歳)、次男(12歳)。

- P.1 新型コロナウイルス感染症対策補正予算(第1号~第5号)の全体像
- P.2 補正予算(第1号、第2号、第4号)
- P.3 補正予算(第3号)、区内の話題
- P.4 補正予算(第5号)、所属委員会等変更、「区政に関する意見交換会」について

総額 約650億円の補正予算
～ 新型コロナウイルス感染症対策 ～

4月に令和2年度が始まって以降、6月までに、**3回の臨時議会(4/20、4/30、5/19~5/20)**と**1回の定例議会(5/29~6/17)**が開かれ、新型コロナウイルス感染症対策として、**総額約650億の補正予算が可決**されました。**私は、緊急性・必要性から、全ての補正予算に賛成**しました。

議決日	補正予算	総額	盛り込まれた事業の例(*1)
4月20日	一般会計(第1号)	24億7,864万4千円	地域医療の崩壊防止対策
4月30日	一般会計(第2号)	595億9,507万円	特別定額給付金給付
5月20日	一般会計(第3号)	5億8,222万6千円	区直営のPCR検査実施体制の整備 学校休業中の家庭での学習環境整備
6月17日	一般会計(第4号)	5,918万円(*2)	区立施設におけるトイレ手洗いの自動水栓設置
	一般会計(第5号)	18億1,488万2千円	文化・芸術活動支援

(*1)各補正予算における事業の詳細は、2ページ以降でご報告しております。
(*2)総額5億3,962万3千円のうち、新型コロナウイルス感染症対策関連を抜粋

また、上記の他、6月17日には、保険料減免対応として、国民健康保険事業会計(3億7,500万円)、介護保険事業会計(6,600万円)の補正予算も可決しております。

新型コロナウイルス感染症対策の予算のうち、多くは国や都からの支出金があります(例:特別定額給付金等)。しかしながら、**区独自財源の持ち出しも、31億円強**に及びます。これらの補正予算は、いわば**「非常時の財政出動」であり、まずは区民の方々の生命・生活を守るために機動的に対応する必要**があり、私も緊急性・必要性から賛成しました。一方で、今回の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、今後の歳入(区税収入等)は厳しくならざるを得ません。安易なバラマキに陥ることのないよう、しっかりチェックしていきたいと思っております。

補正予算(第1号) : 4月20日議決

- ◆ 感染が疑われる人を対象とした「発熱外来」を設置している区内基幹病院(4病院(*3))に、
・発熱外来拡充
・入院病床増設
等を行うための経費を、病院経営への影響(*4)を踏まえて**包括的に補助**。
- ◆ 拡充する発熱外来への医師確保支援。

(*3)河北総合病院、荻窪病院、佼成病院、東京衛生病院

(*4)新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによって、他の診療・入院の受け入れ縮小を余儀なくされること等による、収入の大幅な減少

主な事業	予算額
地域医療の崩壊防止対策(入院病床増設・発熱外来拡充設置等)	22億7,960万円
感染症対策に係るマスク等の購入	1億5,678万5千円
帰国者・接触者電話相談センターの拡充	2,738万7千円
商工相談体制の拡充	664万3千円
発注済み給食食材費の補てん	358万8千円

杉並区内でも感染者数が急増している段階での補正予算であり、基幹4病院への包括補助は、「**地域医療の崩壊防止**」のため、必要な施策であると考えます。

一方で、今回の包括補助は、「新型コロナウイルス感染症対応のため減収となる収入額と、過去3年の平時における収入の平均額との差額相当分(4~6月)を、事前の試算に基づき助成する」というものです。**補助金の透明性・適正性を確保するため**、一定の落ち着きが得られた段階で、**精算手続き(超過時の返還等)が必要**である旨、総務財政委員会で質疑を行い、区長から「しっかりと行う」旨、答弁を得ました。



補正予算(第3号) : 5月20日議決

今後の第2波への備えとして、杉並保健所生活衛生課分室(旧杉並区衛生試験所)において、新型コロナウイルス感染症PCR検査を行うために必要な、備品購入や内装改修経費。
7月下旬から検査開始予定。



PCR検査は都健康安全研究センターや民間検査機関で実施していますが、**区直営施設で検査ができれば、検体搬入時間や搬入手続きを短縮することができます**。5月17日(日)に行われた「近隣住民向けパネル展示」に伺い、保健所職員の方から検査体制や方法等説明を受けましたが、今後の備えとして意義あるものと考えております。



学校で学ぶべきことは、いわゆる勉強(学力向上)だけでなく、集団活動のあり方や多様な体験機会を得ることも含まれるため、オンライン教育で学校での教育を完全に代替できるとは思いませんが、再び休業となった時に備え、一定の代替手段を確保しておくことは必要です。6月9日の文教委員会では、**オンライン教育を進める**ための現在の取組(個人情報保護との関連等)を確認し、さらに進めていくよう求めました。

主な事業	予算額
区直営のPCR検査実施体制の整備	3,000万円
介護者等が新型コロナウイルスに感染した場合の障害者等の生活支援	3,791万4千円
新型コロナウイルス感染者の入院・移送経費等	8,535万3千円
中小企業・小規模事業者支援の拡充	4,334万2千円
生活困窮者等自立促進支援(住宅確保に係る給付)	2億564万3千円
子育て応援券(ゆりかご券)による妊婦への感染予防対策	4,757万9千円
学校休業中の家庭での学習環境整備	7,828万2千円
学校再開後を見据えた給食食材納入業者への支援	5,161万1千円

学校休業中にオンライン教育を実施するために、インターネット環境が整っていない家庭に
・タブレット型情報端末
・モバイルルーター
を貸与するための経費。
必要台数は、保護者アンケートにより算出。



補正予算(第2号) : 4月30日議決

特別定額給付金(1人10万円)・子育て世帯への臨時特別給付金(児童手当本則給付受給者。1人1万円)とも、事務費を含め、全額国庫負担となります。総務財政委員会の質疑では、国会における補正予算審査の状況や事務費の内訳等を確認しました。

主な事業	予算額
特別定額給付金給付	591億1,400万円
子育て世帯への臨時特別給付金給付	4億6,538万円
区立施設におけるトイレ手洗いの自動水栓設置(第1弾)	1,569万円

補正予算(第4号) : 6月17日議決

定例議会の当初(5月21日)の議会運営委員会に提案された補正予算であり、新型コロナウイルス感染症対策関連は、右記にとどまります。

主な事業	予算額
区立施設におけるトイレ手洗いの自動水栓設置(第2弾)	4,918万円
国民健康保険事業会計への繰出金(事務委託費)	1,000万円

その後、定例議会閉会2日前の6月15日に、さらなる補正予算(第5号)が提案されました。

区内の話題: 都立高井戸公園 一部開園

6月1日、久我山2丁目に「都立高井戸公園」が一部開園しました。当公園については、平成18年3月末に旧NHKグラウンドが閉鎖され、当該地が都市計画高井戸公園の計画区域内にあり、かつ、面積要件



平成18年6月の一般質問の様子

(総計画面積10ヘクタール超)から、「**都立公園としての整備**」を東京都に働きかけるよう、平成18年第2回定例区議会(6月)の**一般質問にて取り上げました**。

14年後の今、その一部とはいえ開園を迎えたことは、感慨深いものがあります。今後、順次開園地域が拡がり、全体が開園するのは令和6年度の予定です。これからも状況を注視していきたいと思っております。



都立高井戸公園入り口(富士見丘口)